

甲佐町国民健康保険財政が切迫しています

■国保財政は厳しい状況

国民健康保険の運営は、多くの市町村で大変厳しい状況になっており、本町も例外ではありません。

左下のグラフは、甲佐町国民健康保険加入者と医療費（保険給付費）の推移です。

加入者が減少しているのに対して、医療費は増加していることが分かります。この推移は、医療技術の高度化や高齢化の進展などが原因とされていますが、最近では生活習慣病の増加も主な原因の1つに挙げられています。

また、本町は平成23年度に医療費が大幅に上がったため、県から平成25年度の高医療費市町村に指定されています。

本町の国保財政の状況（前年度からの繰越金や国保積立金の繰入分を除いた単年度収支）は下表のとおり、医療費の増加で支出が増えた結果、毎年赤字となっており、町は大変厳しい財政運営を迫られています。

■病气などが重症化する前に、早期発見・予防を

平成23年度における甲佐町国民健康保険加入者の1人あたりの年間療養諸費（診療費・調剤・入院時の食事など、病院で掛かる費用）は、約35万円となっています。これは、県内45市町村の中でも高額です。

本町では重症になってから病院を受診する人が多いため、入院や手術などの費用が掛かり、全体の医療費もより高く

なってくるのです。

●医療費が高額になる疾患（70歳未満・所得区分一般の場合）

▼糖尿病の合併症（網膜変性神経障害、腎臓障害など）
手術費：1回約100万円
（うち自己負担分8万7,430円）

▼腎不全など腎臓の病气

人工透析：年間約540万円
（うち自己負担分月額1万円）
▼動脈閉塞（へいそく）、心疾患、脳梗塞や脳出血など
手術費：1回400万円

（うち自己負担分11万7,430円）

重症化してから受診したときの経済的負担は、限度額までしか掛からないものの、病気が軽度のときと比べるとはるかに高額になります。また、保険者である町の負担も大きくなります。

重症化する前に、早めに病院を受診することや、健診を受けて病気を早期発見・予防することが大切です。

■健診で生活習慣病を予防

全体の医療費の約4分の1は高血圧・糖尿病・心疾患・脳血管疾患・腎不全といった生活習慣病が占めています。生活習慣病は、自覚症状のないまま進行するのが特徴です。予防のために健診を受けて、自分の健康状態を確認しましょう。

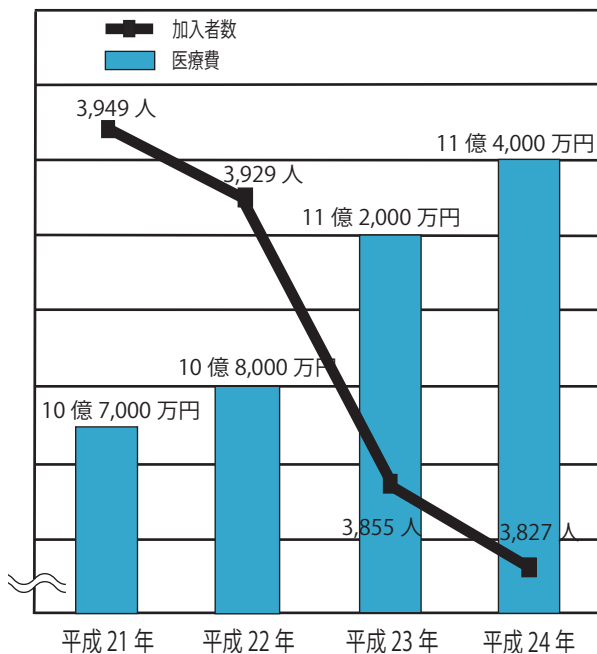
●お問い合わせ先

町住民生活課

☎096・234・1113
（内線106）

✉k1g204@town.kosa.lg.jp

●甲佐町国民健康保険加入者と医療費（保険給付費）の推移



●甲佐町国民健康保険特別会計の財政状況

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
収入額 (歳入決算額)	15億5,600万円	15億800万円	16億3,300万円	18億4,700万円
支出額 (歳出決算額)	15億9,600万円	15億9,800万円	16億7,100万円	18億8,300万円
差引額 (単年度収支)	△4,000万円	△9,000万円	△3,800万円	△3,600万円